

ぶら研

「すんくじら」

令和6年度 志和池小 校長室からぶらっと研修 15 10月15日 文責 田爪

個性の伸長とリフレーミング

先日、声優の大山のぶ代さんが亡くなりました。

昔、道徳の副読本（学研）に「ドラえもんの声」と言う資料（個性の伸長）がありました。

大山さんは、中学生時代に自分の声にひけめを感じるようになり、「何かしゃべると人がわたしの顔を見る」と思い、人前で声が出せなくなりますが、高校生では演劇部に入り、自ら人前で声を出す努力をしたことで、「ドラえもんの声」という唯一無二の存在になりました。

「子どもたちは、みんなそれぞれに「よさ」がある。」ということをよく言いますが、そのよさに気づき、認め励ましていくアクションを起こすことが大切です。そのためには、一定の枠組みから見るのではなく、枠組みを広げたり、別の視点から見たり、ハードルを下げたりすることが大切だと思います。※リフレーミングと言います。

説明し話し合い学ぶ

5年2組の算数の学習の様子です。



算数の時間に、問題解決に向けて自由に話し合っています。

FigJam にそれぞれの考え方を書いているので、それを参考にしながら考え話し合っています。



これは、普通のペアでの話し合いのように見えますが、全体での説明のあと、その説明がわかったかどうか、またその内容について隣同士で確認し合っています。



FigJam には自分の考えを書くだけでなく、板書や自分のノートを撮影して貼り付けたり、自分の説明を動画で貼り付けたりしています。

子どもたちが共同編集のスペースをノート代わりに使っています。

「テキパキ動いてくれてありがとう。」「放送ありがとう。」

今日の運動会練習が終わったときの体育主任の言葉。

子どもたちもうれしく、達成感を味わえることでしょう。…ありがとうございます。